

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

## 武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページに公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組がわかっていただけるように公表を行います。

教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組みます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、学校教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思います。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、それ以外は佐賀県学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は国語、算数共にA問題、B問題という2種類の調査で成り立っています。おおむねA問題は「知識」に関する問題、B問題は「活用」に関する問題です。

各学校のホームページには学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

# 実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 小学校全体

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査 結果を受けた取組について

## 【武雄市小学校】

### 1 児童の実態

#### (1) 学習状況調査結果の推移と正答数分布グラフ

##### 学習状況調査結果の推移

(資料1)

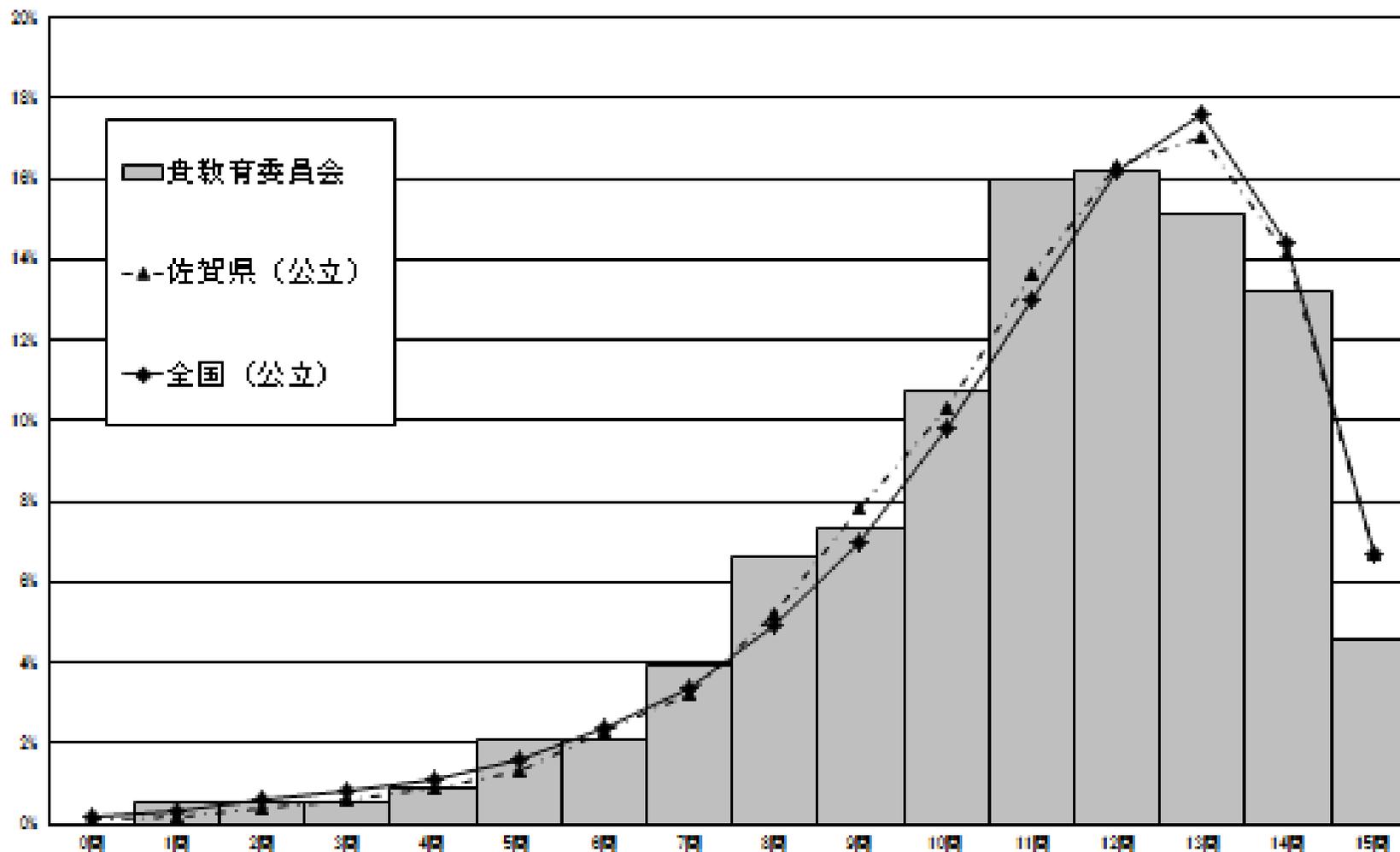
	国語			算数		
	5年時	6年時		5年時	6年時	
		A	B		A	B
H25入学 現5年	60.1 (0.98)			65.8 (1.01)		
H24入学 現6年	64.7 (0.98)	73.0 (0.97)	53.0 (0.95)	64.7 (0.96)	76.0 (0.95)	44.0 (1.00)
H29正答率の 全国比		(0.98)	(0.92)		(0.97)	(0.96)

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率(%)、下段( )は、県平均を1としての比較。

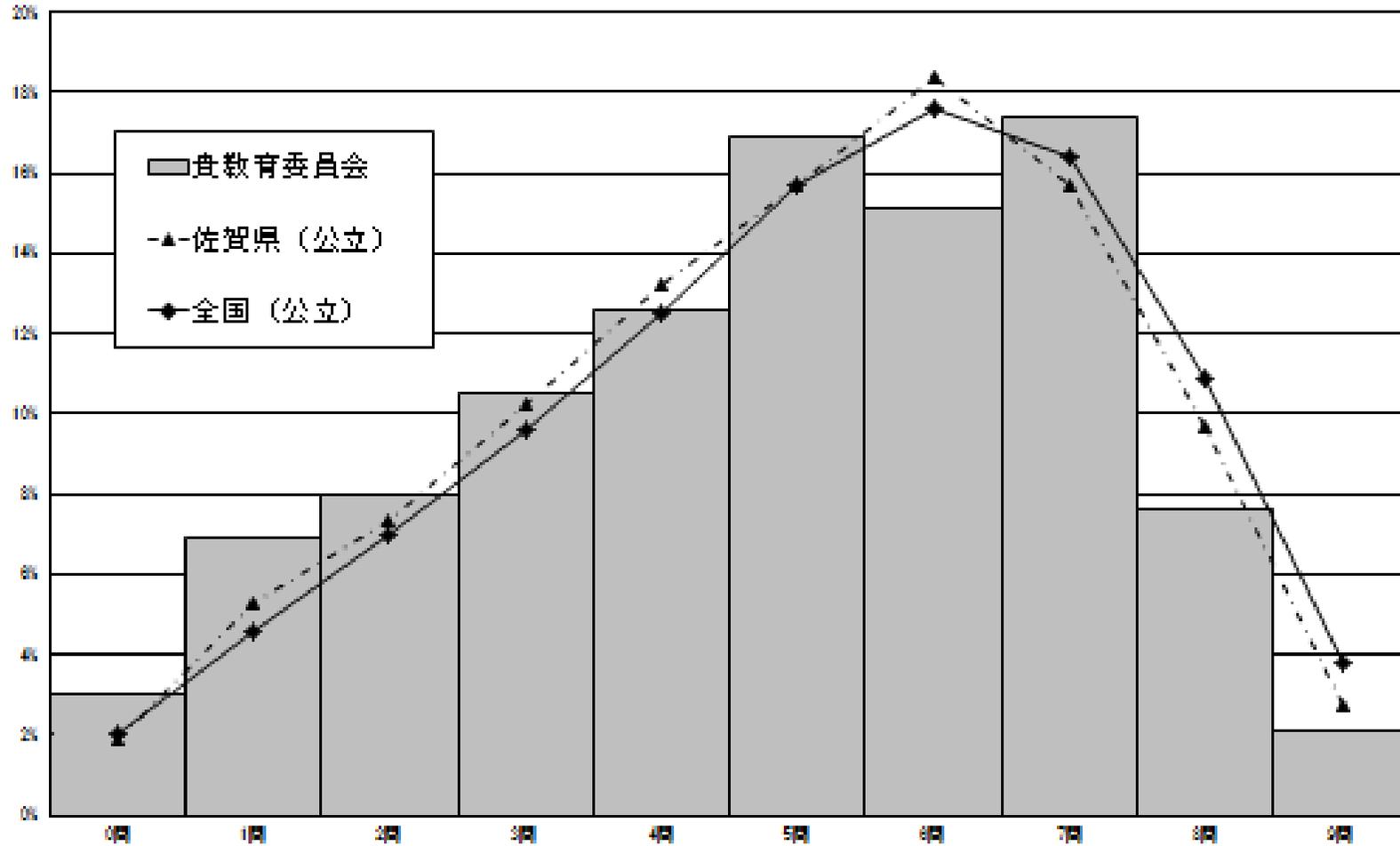
◎「H29正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(小6国語 A)



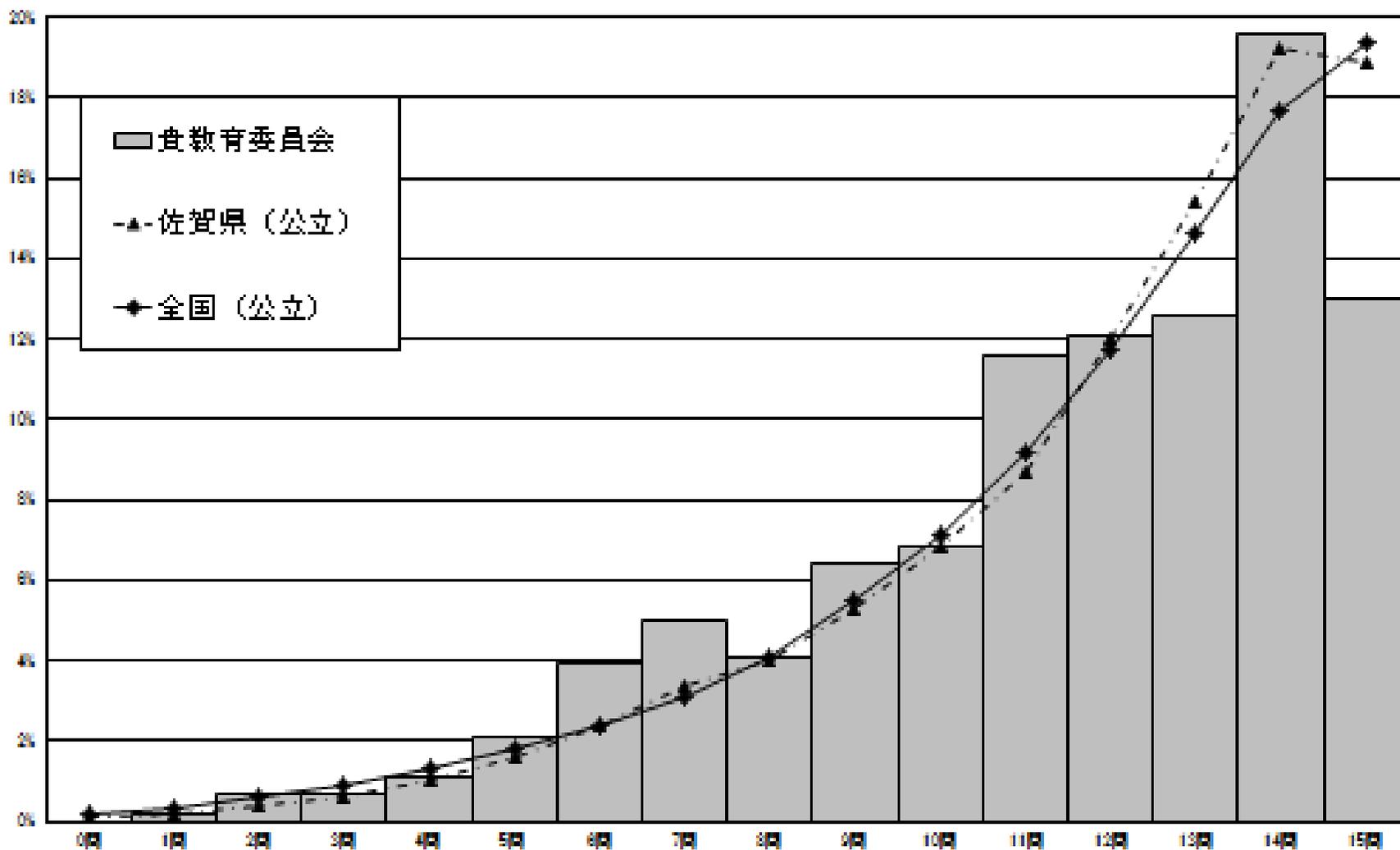
文部科学省 全国学力・学習状況調査(小学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(小6国語B)



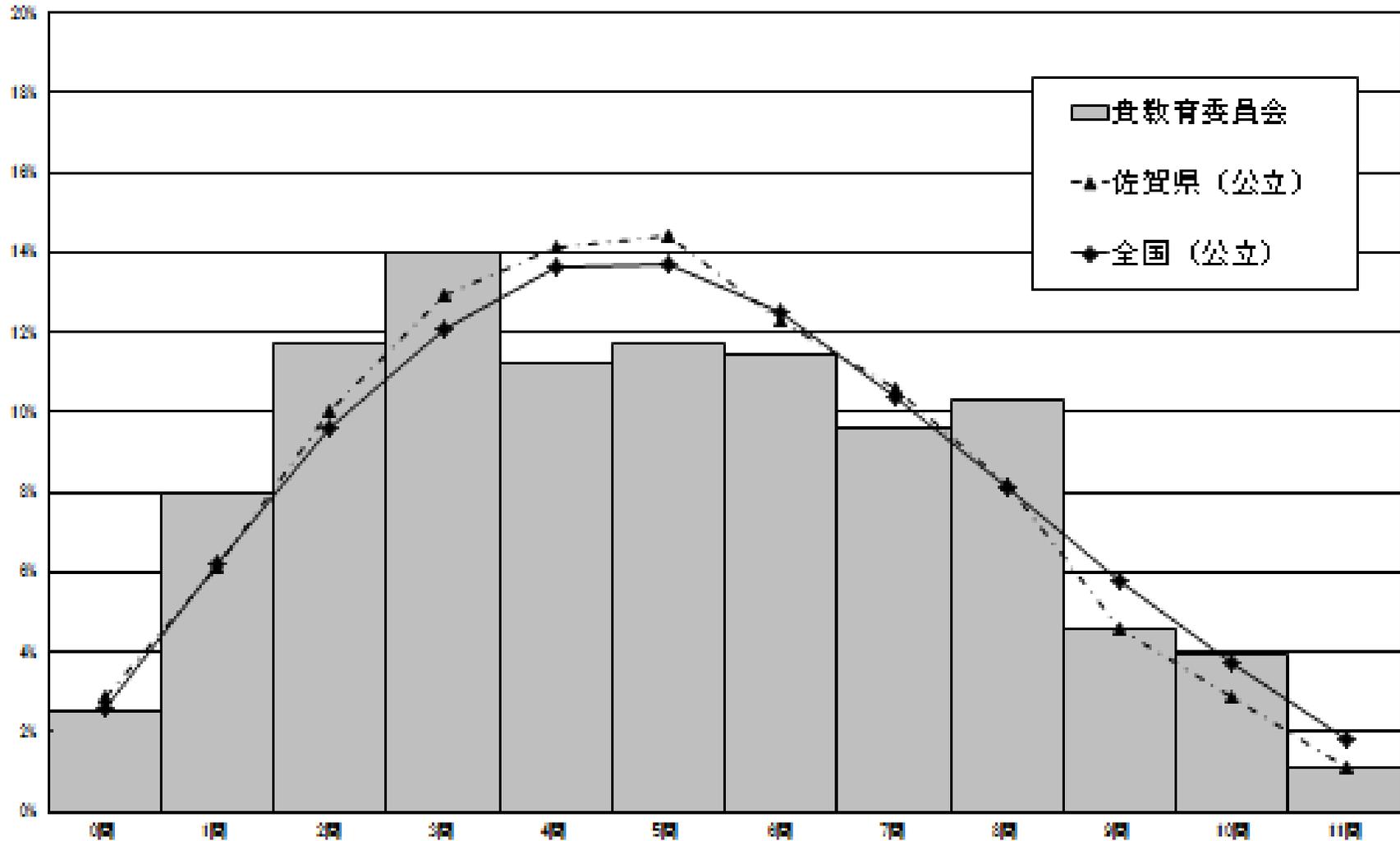
文部科学省 全国学力・学習状況調査(小学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(小6算数 A)



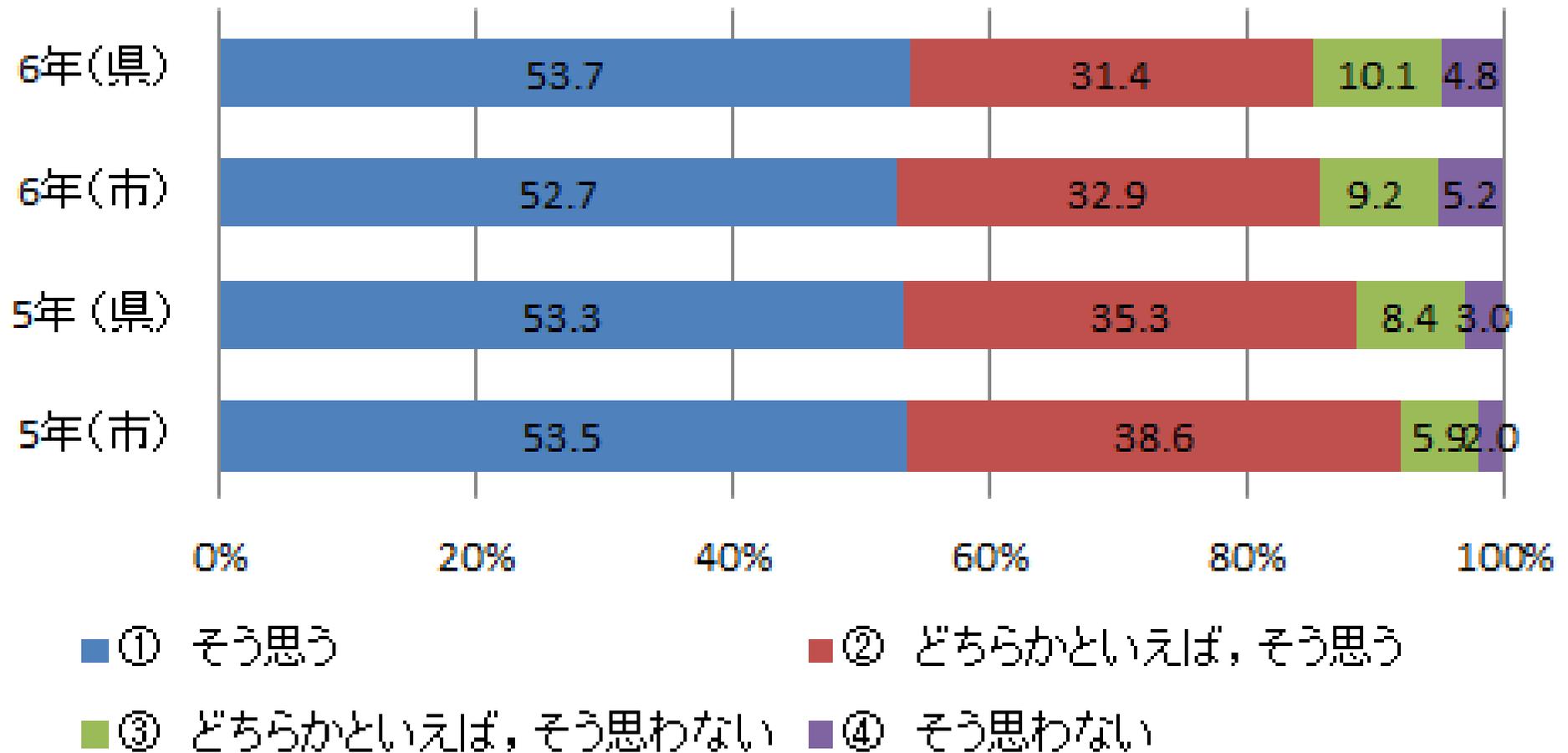
文部科学省 全国学力・学習状況調査(小学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(小6算数B)

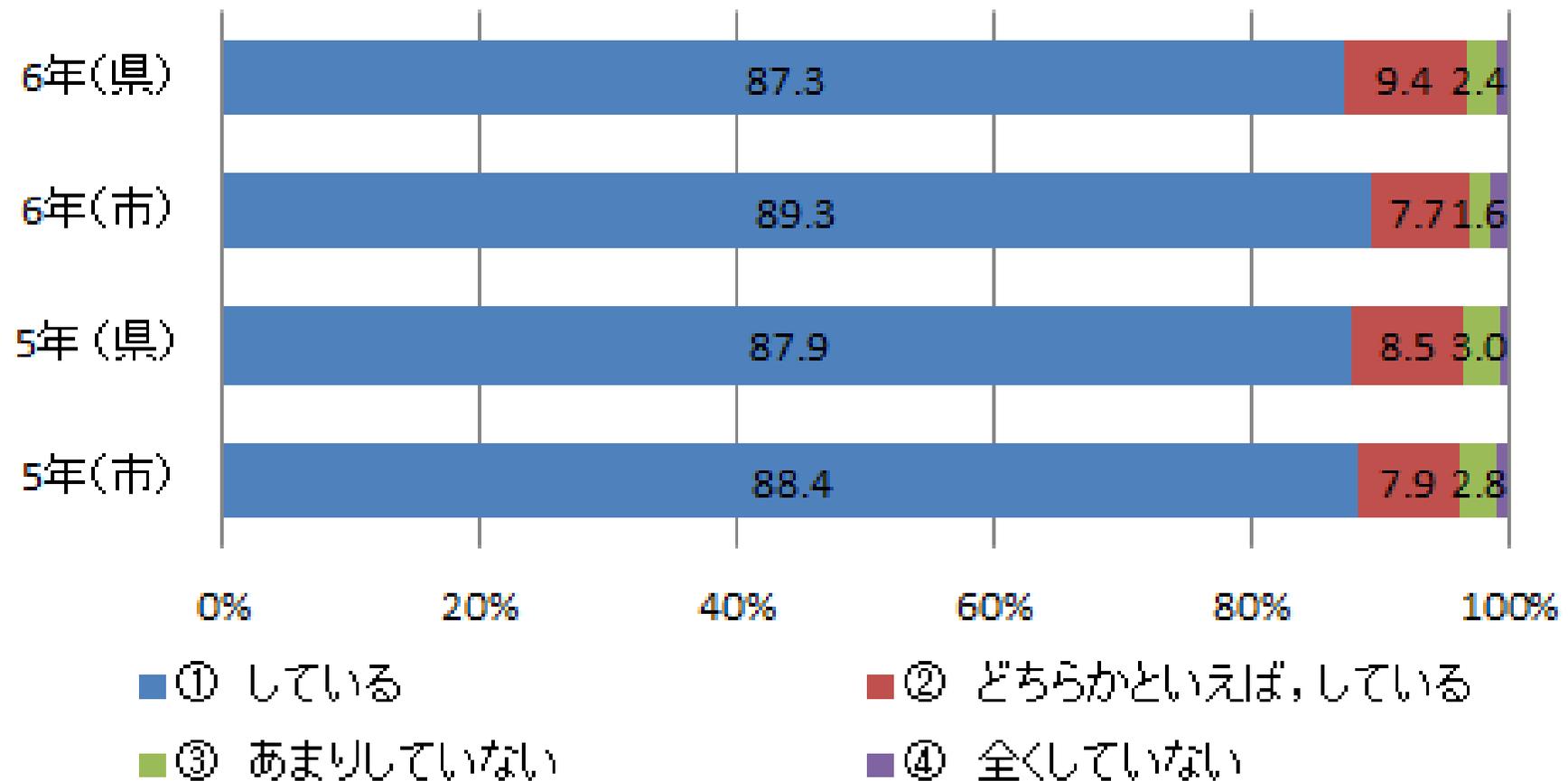


文部科学省 全国学力・学習状況調査(小学校)結果より

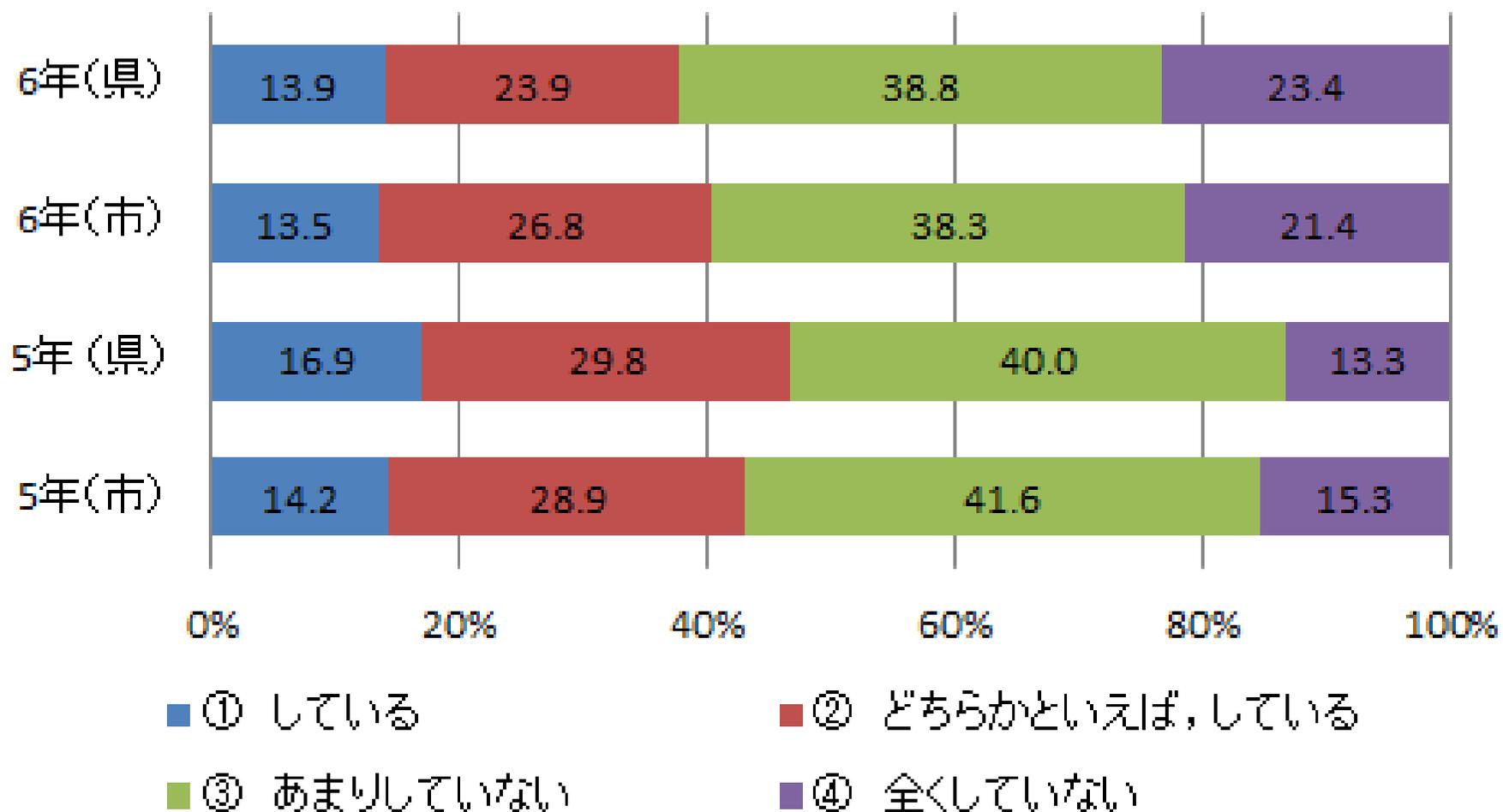
# 学校に行くのは楽しいと思う



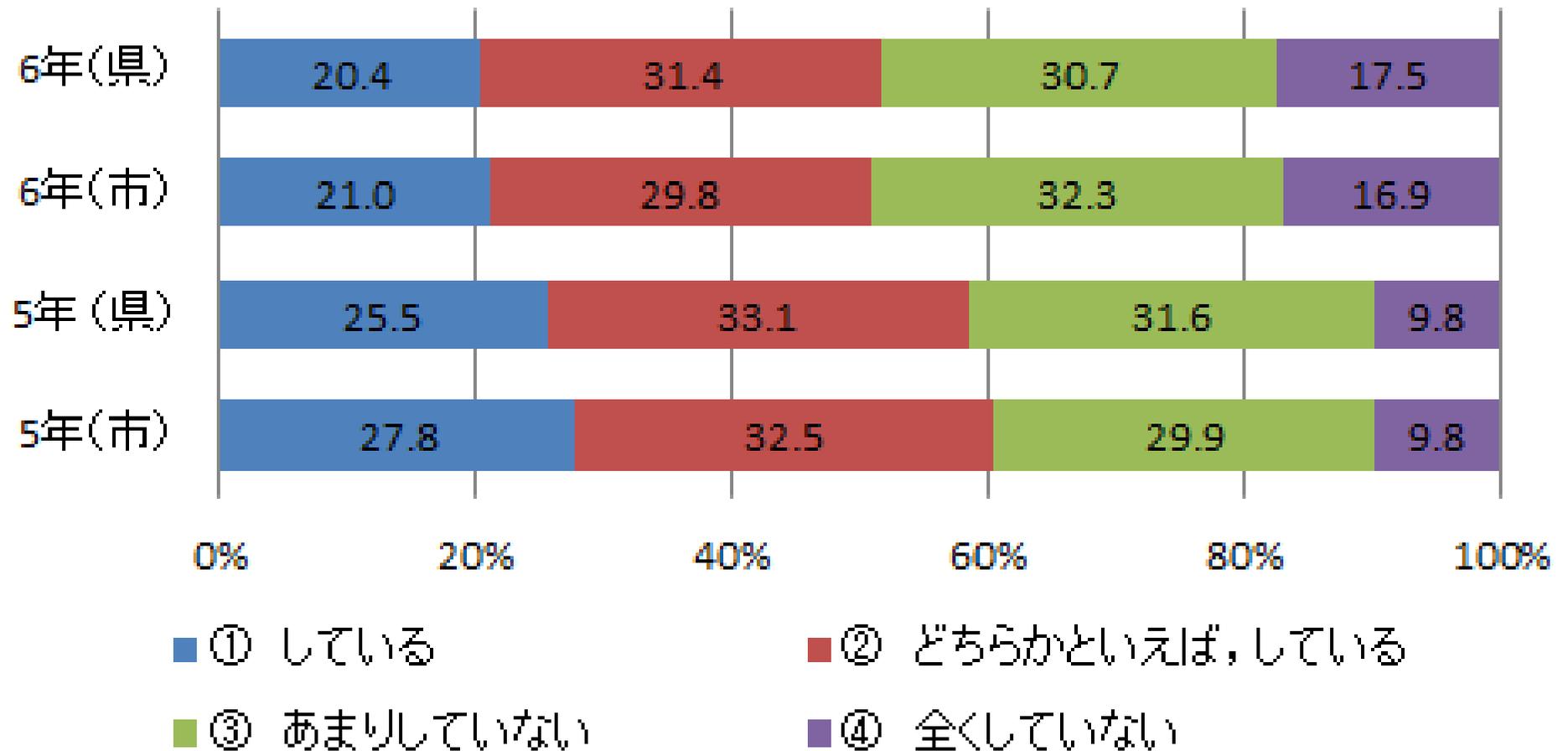
# 学校の宿題をしている。



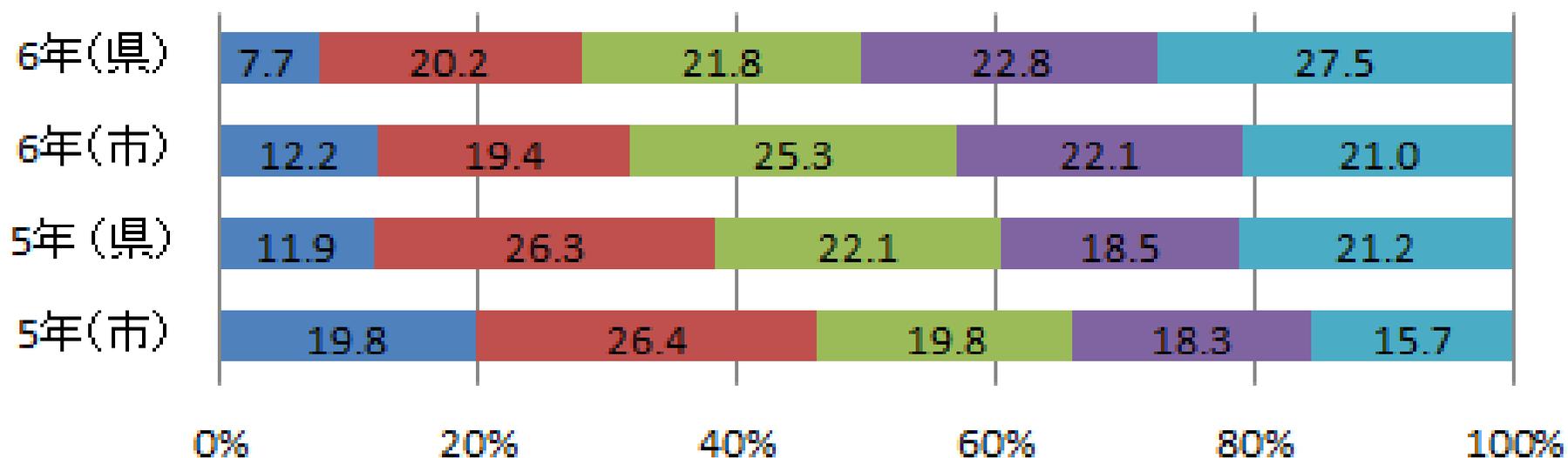
## 学校の授業の予習をしている。



# 学校の授業の復習をしている。

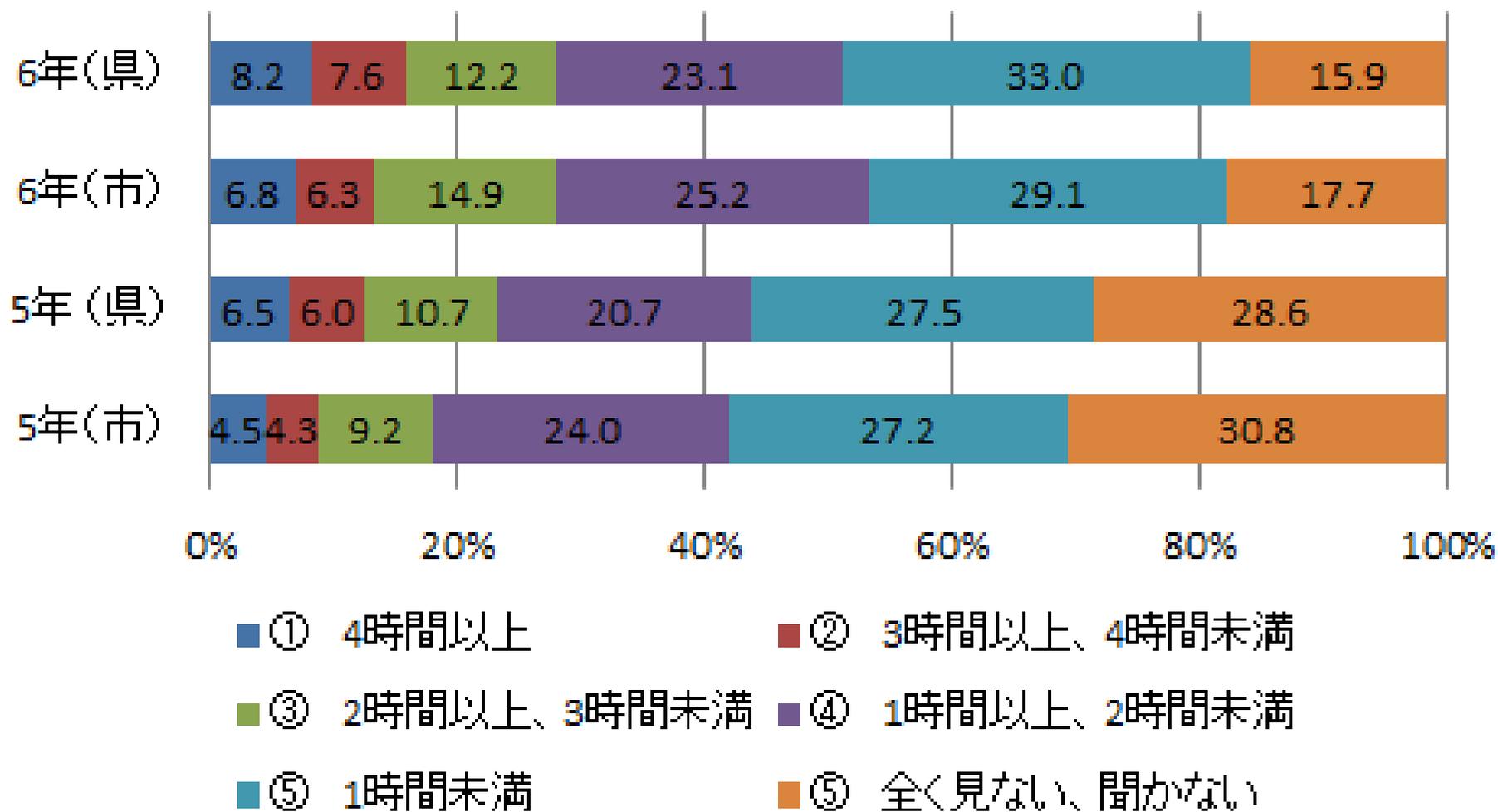


昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか

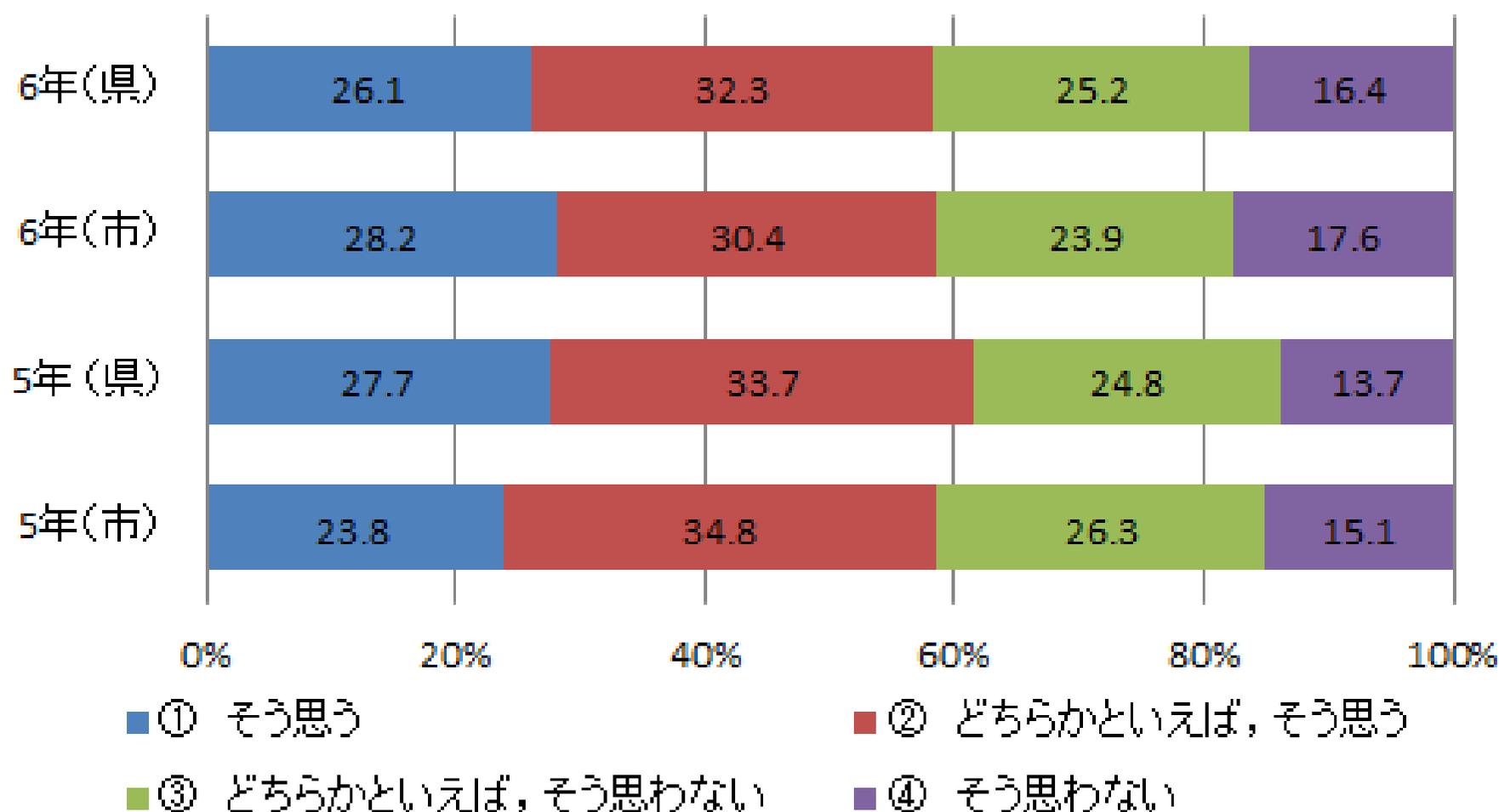


- ① だいたい週に4回以上行く
- ② 週に1～3回程度行く
- ③ 月に1～3回程度行く
- ④ 年に数回程度行く
- ⑤ ほとんどまたは、全く行かない

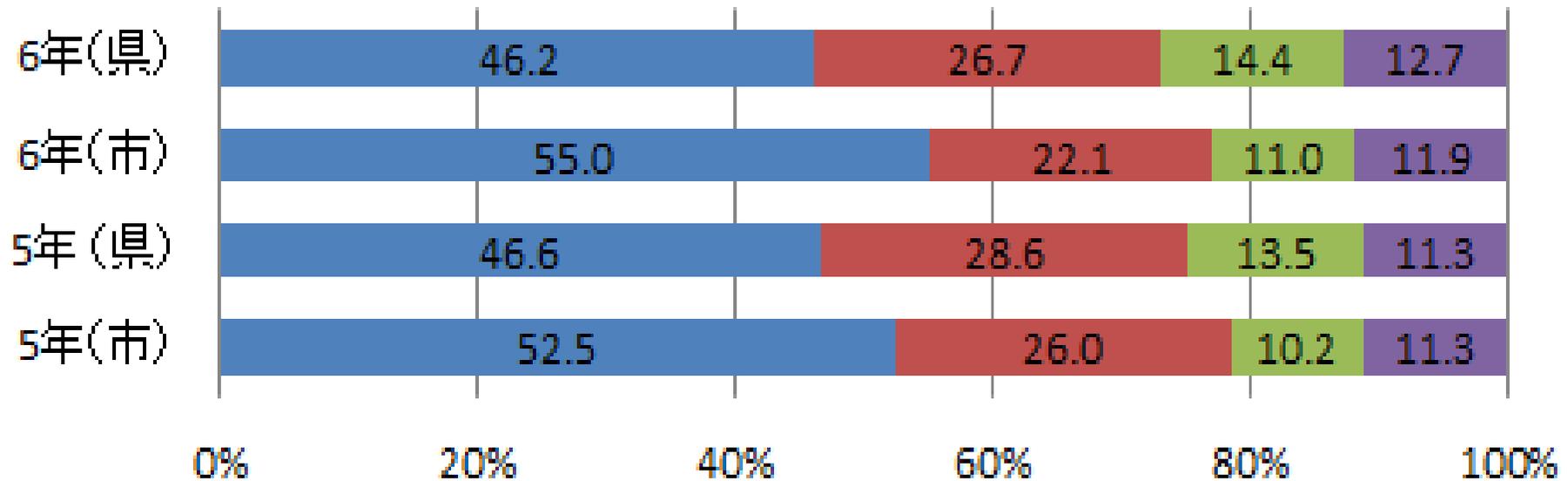
### 普段(月曜～金曜日)、1日どれくらいの時間ゲームをしますか。



## 学校の授業などで自分の考えをほかの人に説明したり文章に書いたりすることは難しい



## 今住んでいる地域の行事に参加している



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない

## (2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態(小学校6年生)

- ・国語A, B、算数Aにおいて、県平均、全国平均をわずかに下回る結果であった。
- ・正答数分布グラフからいえることは、国語A, B、算数A, Bともに高得点層が県や全国の数値に比べて少なく、低得点層から中間層までが県や全国に比べると多いことが言える。特に「活用」に関するB問題で、低得点層が多い。
- ・意識調査からいえることは、学校の宿題はほとんどの児童が「している」「どちらかといえばしている」と答えている。一方、「していない」「あまりしていない」児童が数パーセント見られる。
- ・1日のゲームの時間は県平均並みであるが、平日に2時間以上ゲームをしている割合が少ない。
- ・「授業などで自分の考えをほかの人に説明したり文章に書いたりすることは難しい」と答えている児童は、6年生で県平均を上回っている。また「どちらかといえば難しい」と答えている児童を含めると、50%を超えている。

## 2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取り組みとしていく】

### ○学習状況調査結果を受けて

- ・正答数分布グラフに見られるように、低得点層の底上げが課題である。調査対象学年だけでなく、全校で基礎学力の定着、学力向上について研修を行い、実践する。
- ・授業の「学び合う」場面において、友達に自分の考えを説明する場面を設定していく。その際、自分の考えをまとめる時間を設定したり話型を提示したりして、苦手意識に対する手だてをとる。
- ・授業のまとめ・ふり返りでは、書く活動を設定し、書くことに慣れさせる。書くことに苦手意識がある児童には、キーワードや学習用語などをヒントとして与えて、自分のことばで書き表す活動を取り入れる。
- ・武雄市では、佐賀県教育委員会より活用力向上研究指定事業に3校が指定を受け、研究、実践に取り組んでいる。3校の研究を市内の小学校に広げるために、公開授業への参加を奨励する。

- ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を授業に積極的に活用し、児童の学習意欲を高める。また、児童の学力向上のためのICT機器の更なる有効活用の在り方を探り、実践につなげる。

## ○意識調査の結果を受けて

- ・95%以上の児童が宿題によく取り組むことができている。一方、「あまりしていない」「していない」と答えた児童も数%見られる。宿題への取組は、家庭でのゲームやテレビ視聴の時間に関係があると考えられる。児童の生活習慣等を把握し、家庭と連携を図りながら家庭学習の定着を図る。
- ・学校の授業の予習・復習への取組はほぼ県平均並みであるが、復習への取組が高くなっている。本市ではスマイル学習（武雄式反転学習）に取り組んでいる。これまでの算数、理科だけでなく、小学校国語科でも動画コンテンツ作りを進めており、今後もスマイル学習の実践を続けることにより、予習に取り組む意識を高めていく。

# 実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 中学校全体

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査 結果を受けた取組について

## 【武雄市中学校】

### 1 生徒の実態

#### (1) 学習状況調査結果の推移

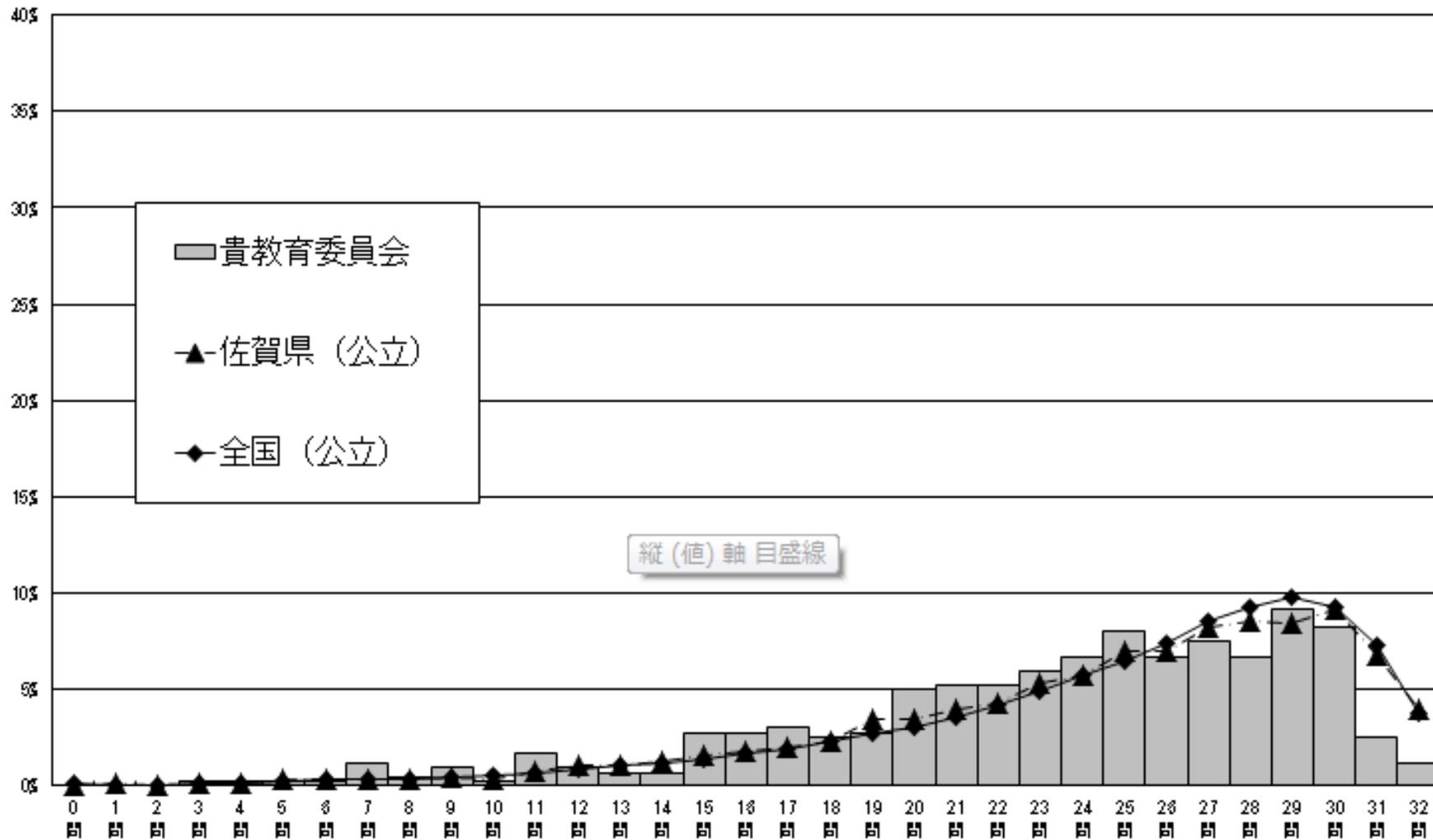
	国語				数学			
	1年時	2年時	3年時		1年時	2年時	3年時	
			A	B			A	B
H29入学 現1年	67.2 (0.98)				65.3 (0.95)			
H28入学 現2年	66.5 (0.97)	57.7 (0.99)			67.3 (0.92)	49.8 (0.92)		
H27入学 現3年	73.8 (1.01)	62.7 (0.95)	73.0 (0.95)	66.0 (0.94)	68.6 (0.96)	50.5 (0.92)	56.0 (0.90)	42.0 (0.91)
H29正答率の全国比			(0.94)	(0.91)			(0.87)	(0.87)

◎1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率(%)、下段( )は県平均を1としての比較。

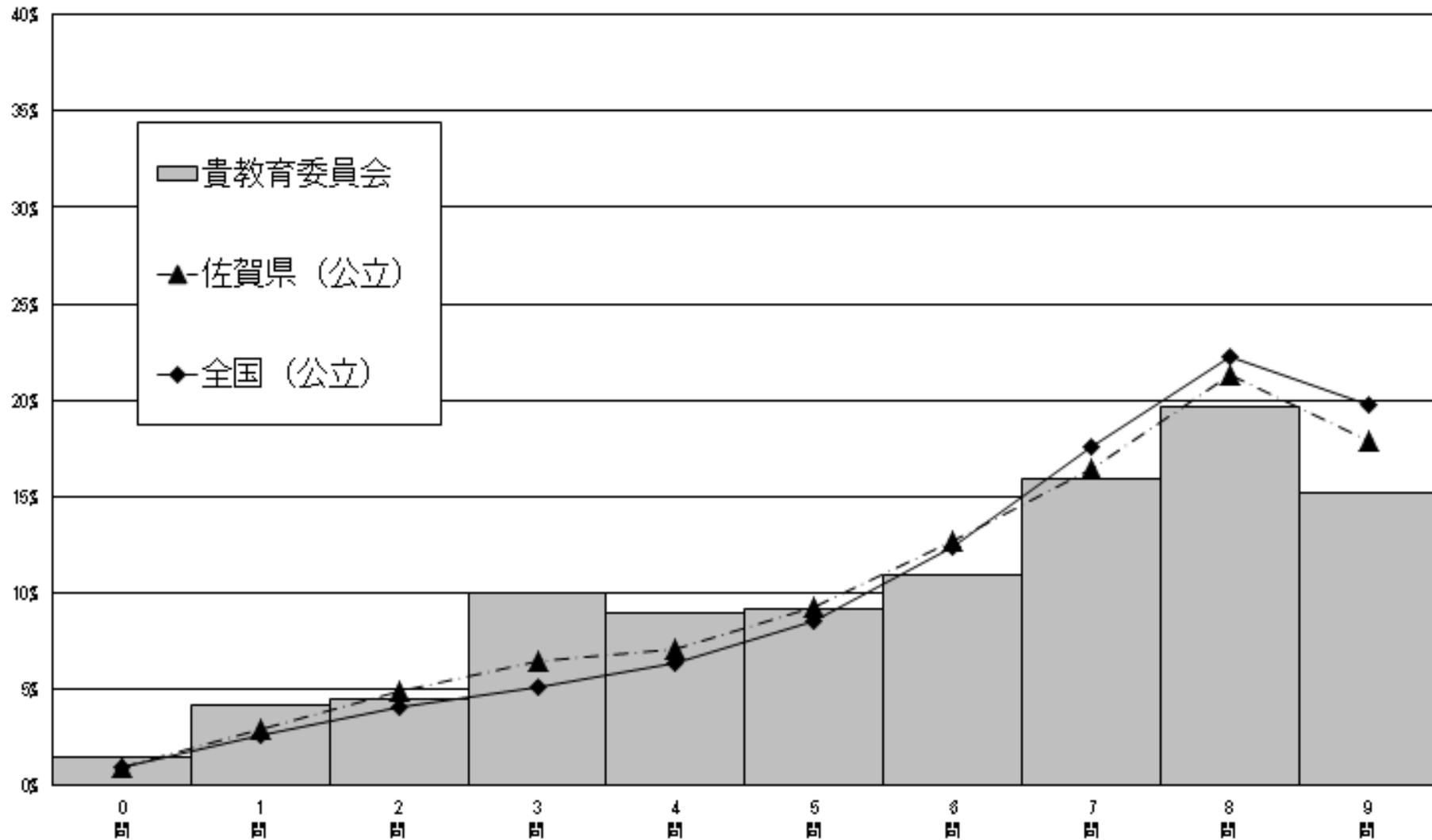
◎「H29正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(中3国語 A)



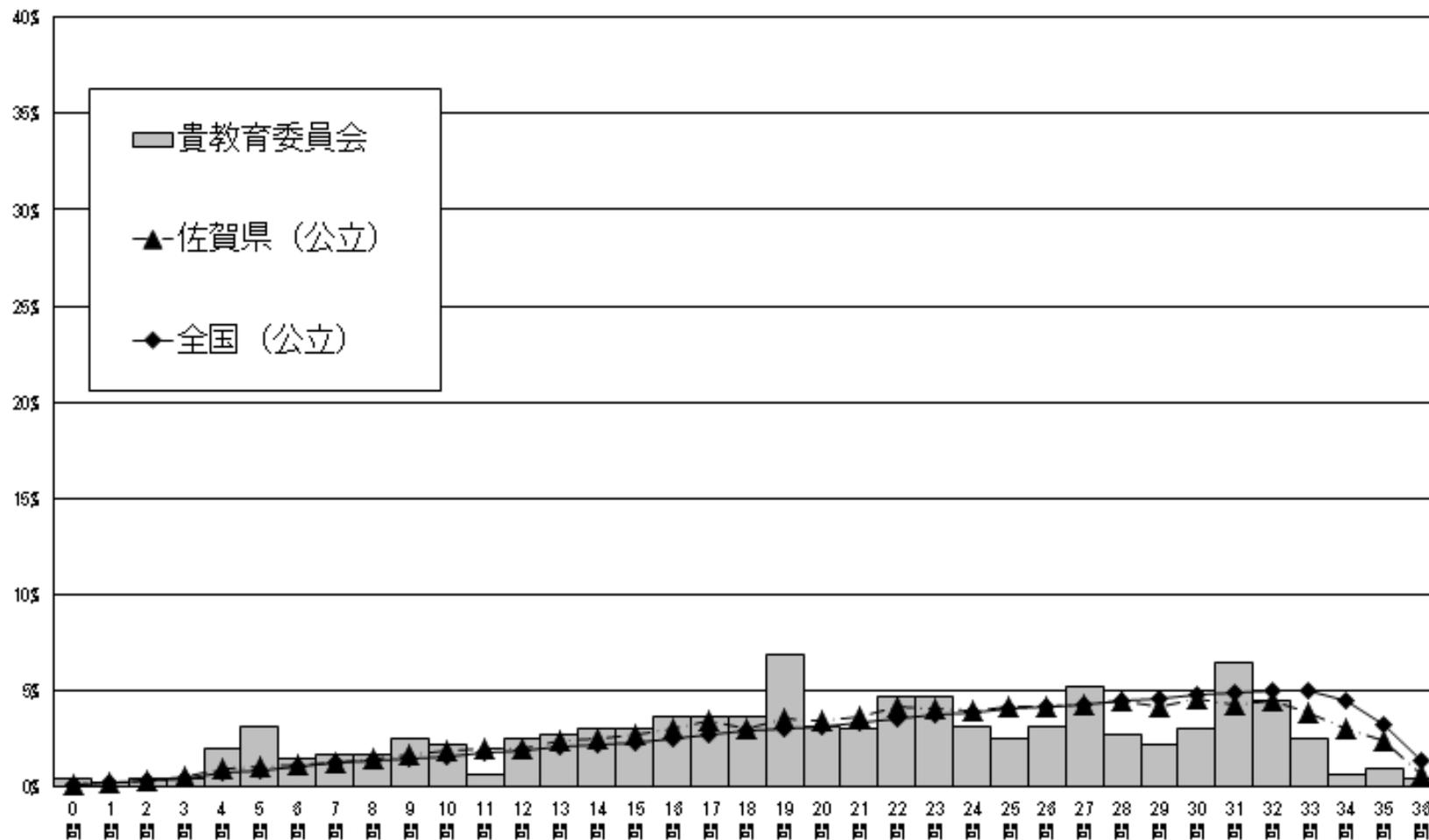
文部科学省 全国学力・学習状況調査(中学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(中3国語B)



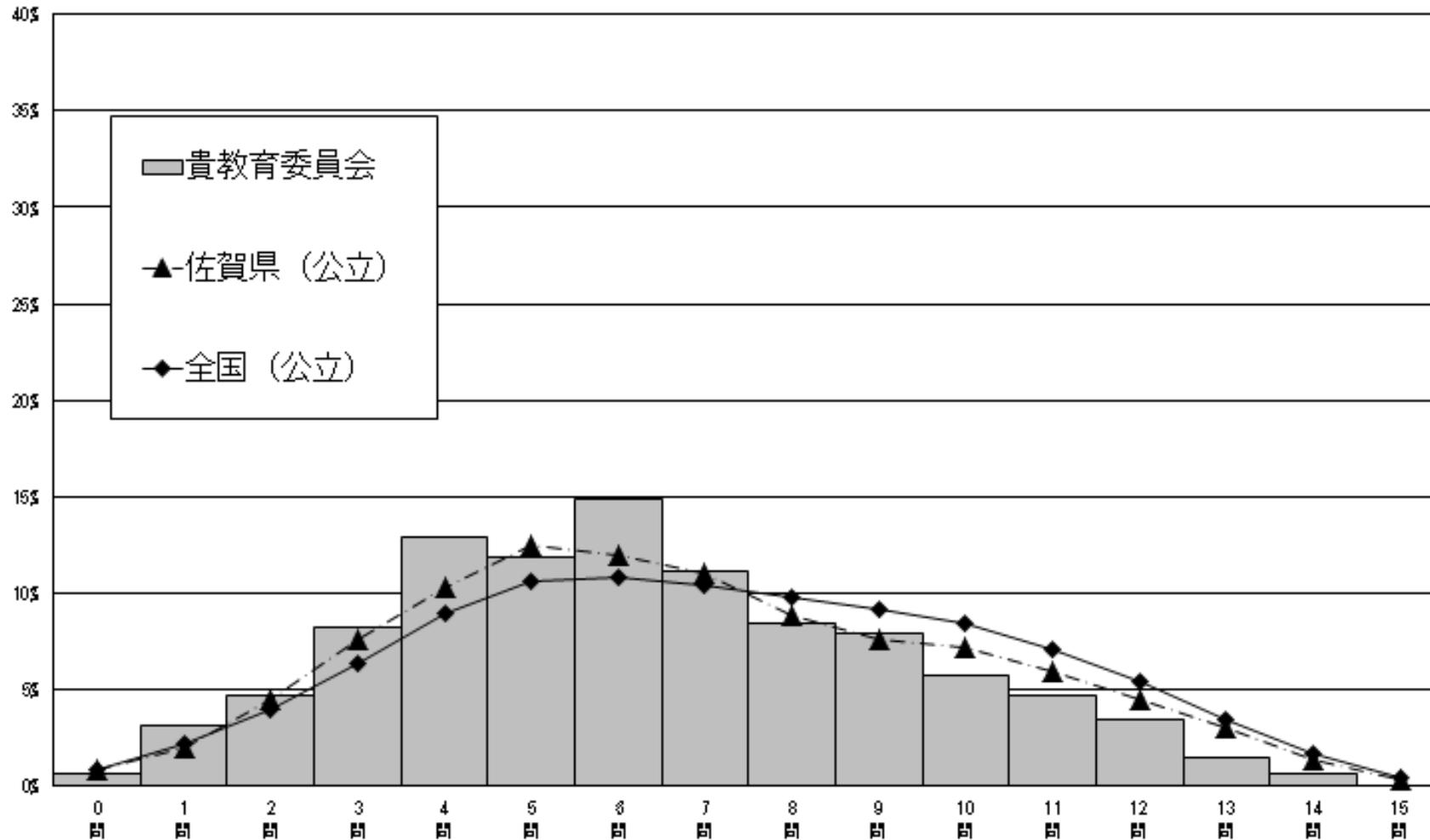
文部科学省 全国学力・学習状況調査(中学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(中3数学 A)



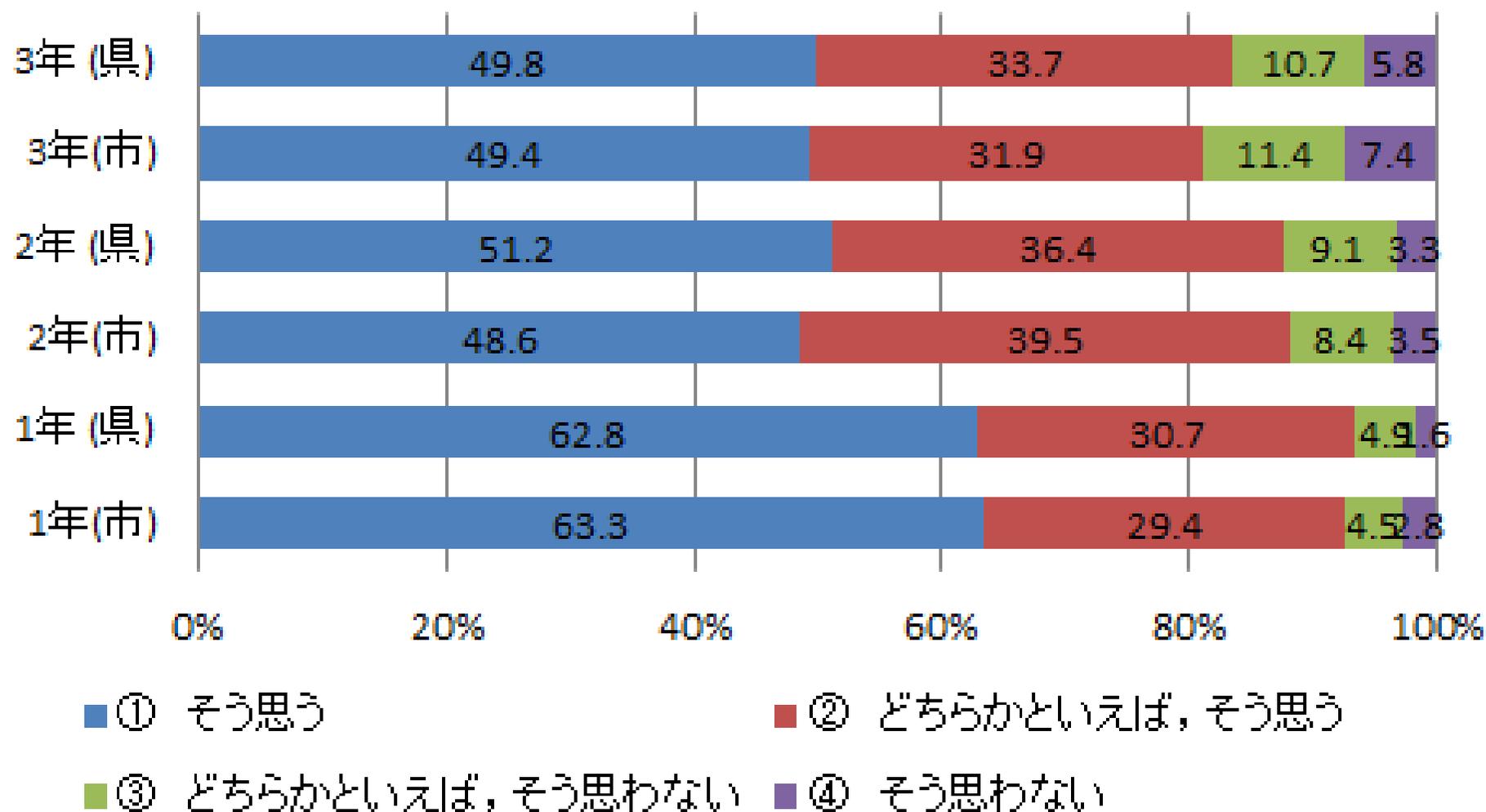
文部科学省 全国学力・学習状況調査(中学校)結果より

# 正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)(中3数学B)

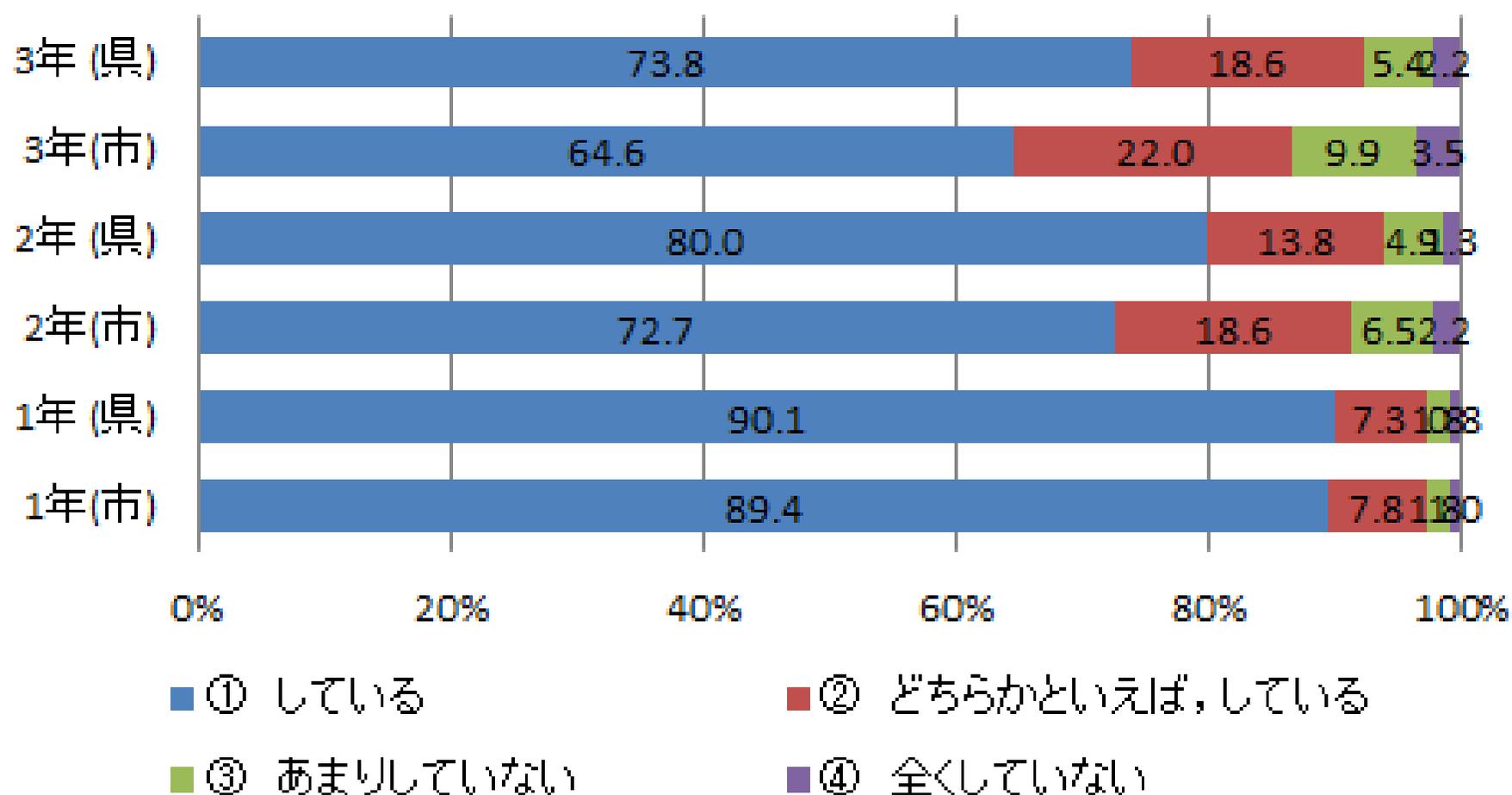


文部科学省 全国学力・学習状況調査(中学校)結果より

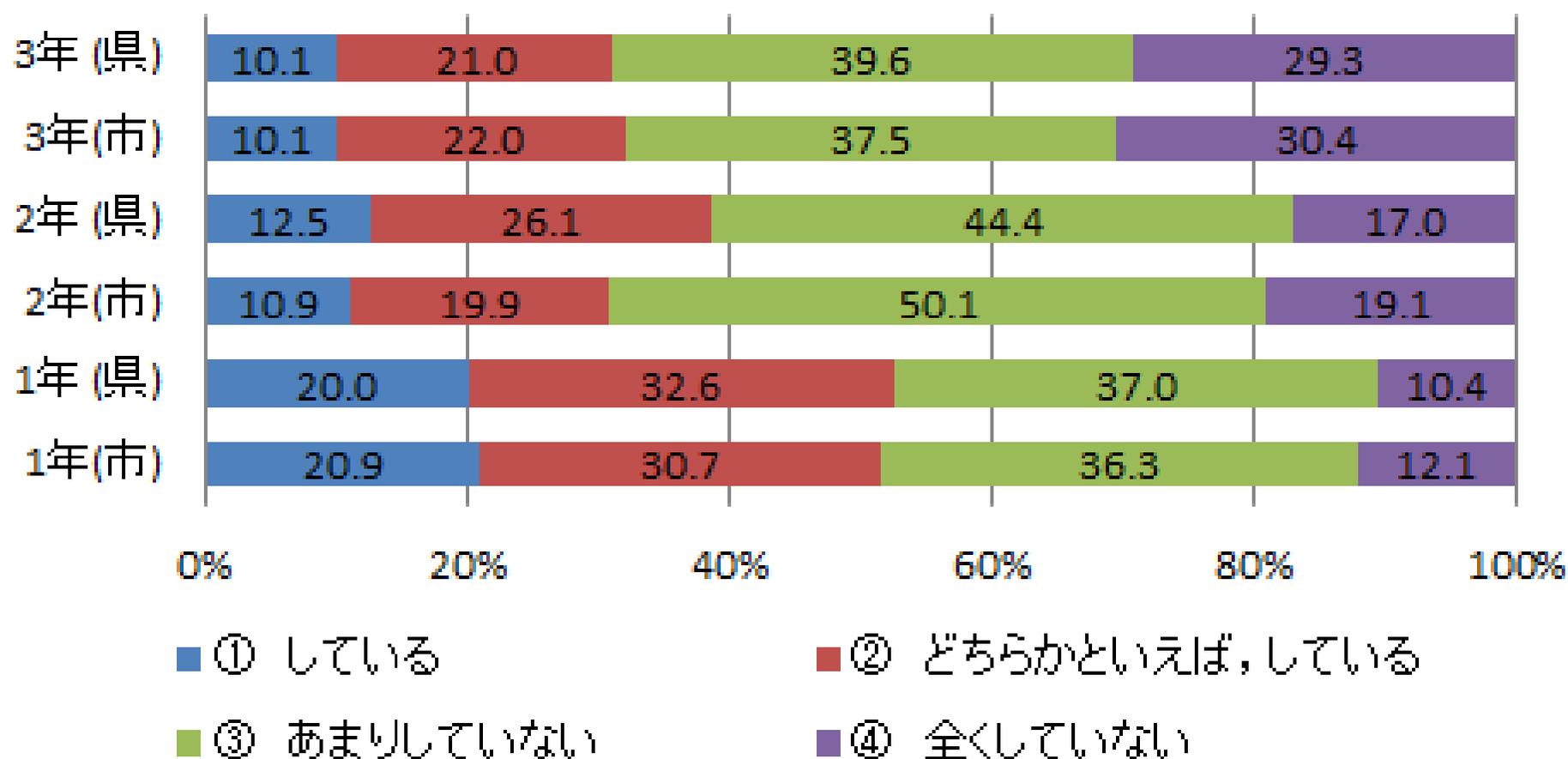
# 学校に行くのは楽しいと思う



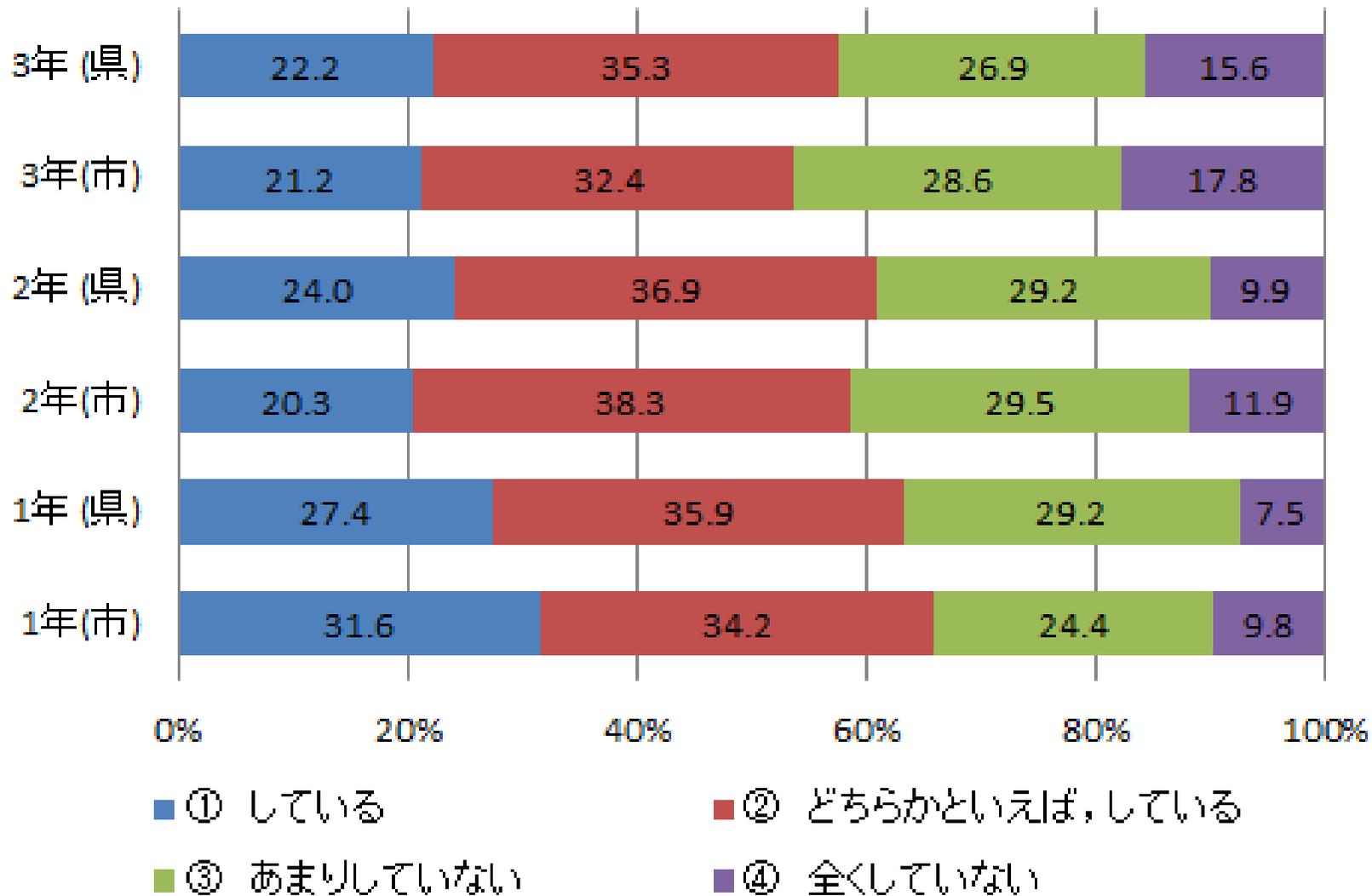
# 学校の宿題をしている。



# 学校の授業の予習をしている

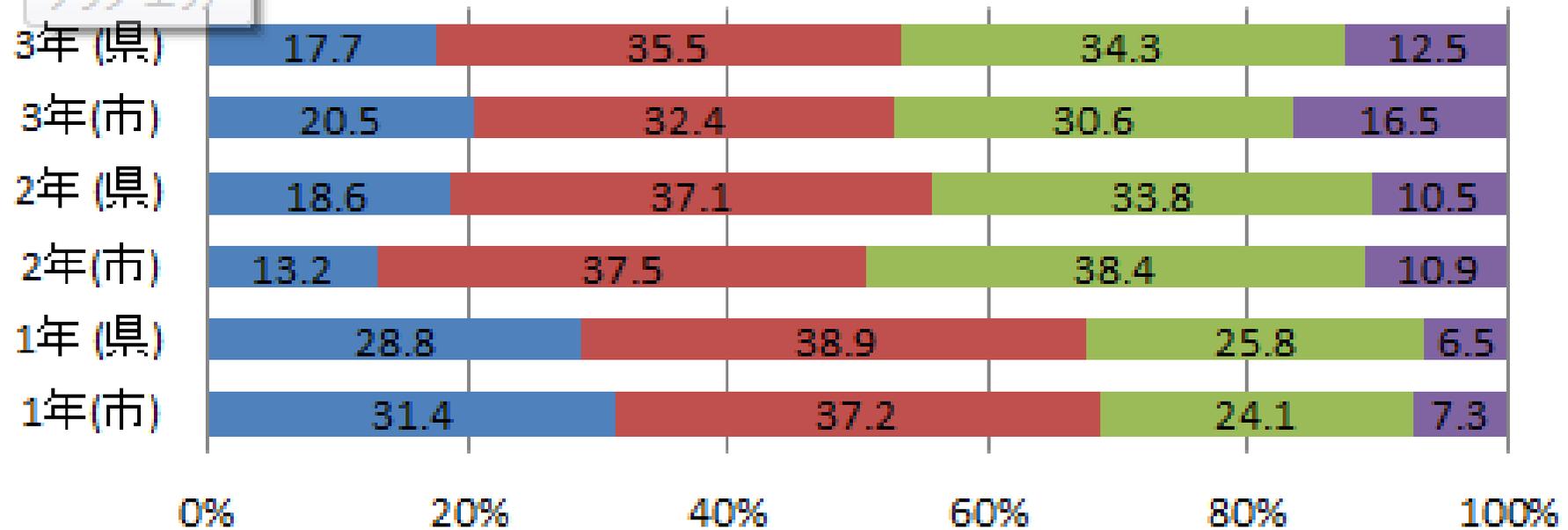


# 学校の授業の復習をしている



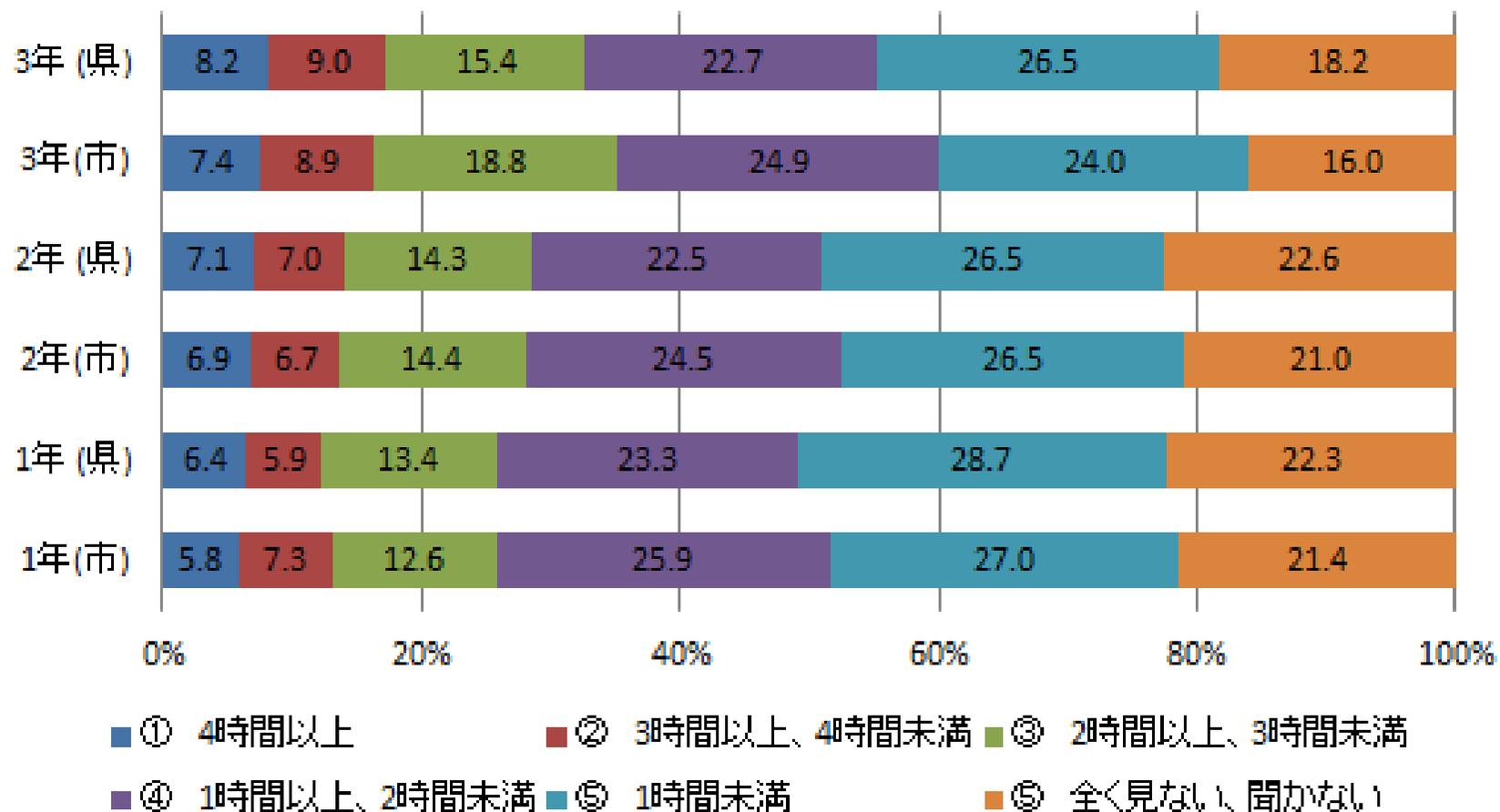
# 自分で計画を立てて勉強をしている

グラフエリア

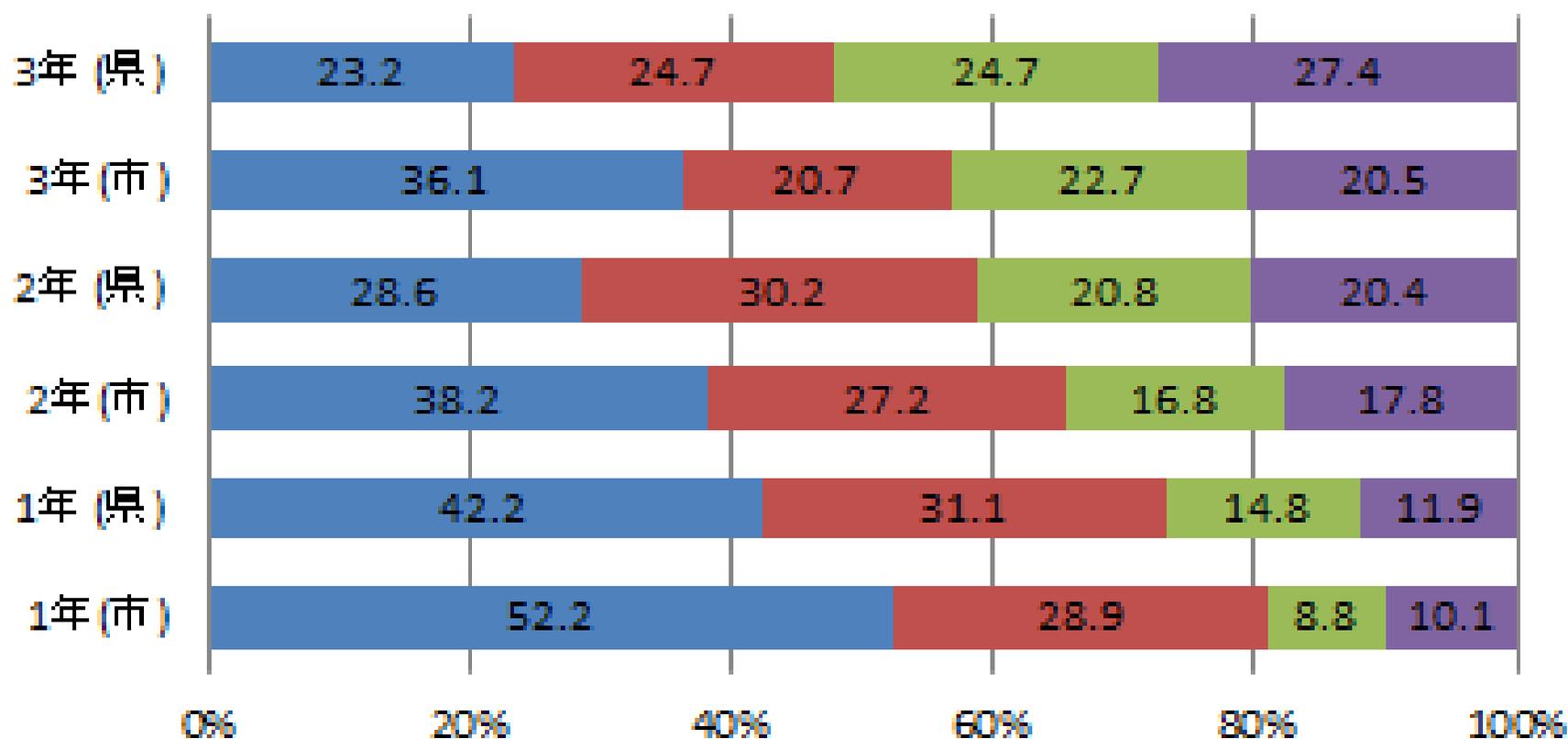


- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない

# 普段(月曜～金曜日)、1日どれくらいの時間 ゲームをしますか。



## 今住んでいる地域の行事に参加している



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない

## (2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態(中学校)

- ・1年生から学年が上がるにつれて、県平均、全国平均との差が広がっている。
- ・正答数分布図から言えることは、国語A,B、算数A,Bにおいて高得点層が県の数値、全国の数値より低い。
- ・実態調査から言えることは、「学校の宿題」「授業の予習・復習」への取組が、1年生から学年が上がるにつれて取り組みの割合が低くなっている。
- ・平日、1日のゲーム時間は、学年が上がるにつれて長くなっている。2時間以上ゲームをしている割合では3年生が一番高く、県平均よりも高い。
- ・地域の行事参加率は、県平均に比べると10%以上高く、地域行事に積極的に参加している。

## 2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

- ・基礎学力の定着を目指し、学習会を実施したりタブレットPCを活用して問題に取り組ませたりする。
- ・スマイル学習（武雄式反転授業）を含めたICT利活用教育を推進していく。
- ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を授業に積極的に活用し、児童の学習意欲を高める。また、生徒の学力向上のためのICT機器の更なる有効活用の在り方を探り、実践につなげる。
- ・学校の宿題、予習、復習への取り組み率と1日のゲームの時間の関係が考えられる。時間の使い方など家庭と連携を取りながら、規則正しい生活習慣・学習習慣の定着をめざす。
- ・武雄市では、佐賀県教育委員会より活用力向上研究指定事業に3校が指定を受け、研究、実践に取り組んでいる。3校の研究を市内の中学校に広げるために、公開授業への参加を奨励する。